

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 4 年 8 月 4 日(2022.8.4)

【公開番号】特開 2021-129781(P2021-129781A)

【公開日】令和 3 年 9 月 9 日(2021.9.9)

【年通号数】公開・登録公報 2021-042

【出願番号】特願 2020-26773(P2020-26773)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02(2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 1 5 A

【手続補正書】

【提出日】令和 4 年 7 月 27 日(2022.7.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

所定条件の成立に基づいて抽選を行い、該抽選の結果に基づいて所定の利益を付与する遊技機であって、

所定の演出画像を表示する演出表示装置と、

前記演出表示装置とは別に設けられる複数の発光部と、

前記複数の発光部に対する発光制御を実行する発光制御実行手段と、を備え、

前記発光制御実行手段は、

前記抽選の結果が所定の利益を付与する結果の場合に、前記複数の発光部のうちの少なくとも 3 つ以上の発光部を用いて、互いに異なる 3 色以上の発光を順次に切り換える第 1 の多色発光制御を実行する第 1 の多色発光制御実行手段と、

30

前記第 1 の多色発光制御に用いる前記 3 つ以上の発光部を、非遊技中の特定時期に互いに異なる 3 色以上の発光で順次に切り換える第 2 の多色発光制御を実行する第 2 の多色発光制御実行手段と、を有しており、

前記第 2 の多色発光制御中に所定の輝度調整操作が行われることにより、少なくとも前記 3 つ以上の発光部の発光輝度を変更することができるよう構成されてなり、

前記第 1 の多色発光制御が実行される場合には、前記演出表示装置に特定の演出画像を表示する制御を行うことが可能であり、

前記複数の発光部には、前記 3 つ以上の発光部とは別に特定発光部が設けられており、

前記特定発光部は、前記第 1 の多色発光制御と前記第 2 の多色発光制御の対象外とされる発光部であり、前記第 1 の多色発光制御と前記第 2 の多色発光制御とは異なる所定態様で発光可能であり、

40

前記第 2 の多色発光制御中には、前記特定発光部が発光可能であり、

前記第 2 の多色発光制御中に前記輝度調整操作が行われたとしても、前記特定発光部の発光輝度は不変であり、

さらに、前記第 2 の多色発光制御の実行中には、所定行為が行われることに基づいて前記第 2 の多色発光制御を途中で終了させることが可能であるが、前記第 1 の多色発光制御の実行中には、遊技者による前記所定行為が行われたとしても前記第 1 の多色発光制御を途中で終了させることが不能とされる

ことを特徴とする遊技機。

50

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００７

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００７】

上記した目的を達成するために、請求項１に係る発明においては、
所定条件の成立に基づいて抽選を行い、該抽選の結果に基づいて所定の利益を付与する遊技機であって、

所定の演出画像を表示する演出表示装置と、

10

前記演出表示装置とは別に設けられる複数の発光部と、

前記複数の発光部に対する発光制御を実行する発光制御実行手段と、を備え、

前記発光制御実行手段は、

前記抽選の結果が所定の利益を付与する結果の場合に、前記複数の発光部のうちの少なくとも３つ以上の発光部を用いて、互いに異なる３色以上の発光を順次に切り換える第１の多色発光制御を実行する第１の多色発光制御実行手段と、

前記第１の多色発光制御に用いる前記３つ以上の発光部を、非遊技中の特定時期に互いに異なる３色以上の発光で順次に切り換える第２の多色発光制御を実行する第２の多色発光制御実行手段と、を有しており、

前記第２の多色発光制御中に所定の輝度調整操作が行われることにより、少なくとも前記３つ以上の発光部の発光輝度を変更することができるよう構成されてなり、

20

前記第１の多色発光制御が実行される場合には、前記演出表示装置に特定の演出画像を表示する制御を行うことが可能であり、

前記複数の発光部には、前記３つ以上の発光部とは別に特定発光部が設けられており、

前記特定発光部は、前記第１の多色発光制御と前記第２の多色発光制御の対象外とされる発光部であり、前記第１の多色発光制御と前記第２の多色発光制御とは異なる所定態様で発光可能であり、

前記第２の多色発光制御中には、前記特定発光部が発光可能であり、

前記第２の多色発光制御中に前記輝度調整操作が行われたとしても、前記特定発光部の発光輝度は不変であり、

30

さらに、前記第２の多色発光制御の実行中には、所定行為が行われることに基づいて前記第２の多色発光制御を途中で終了させることが可能であるが、前記第１の多色発光制御の実行中には、遊技者による前記所定行為が行われたとしても前記第１の多色発光制御を途中で終了させることが不能とされる

ことを特徴とする。

40

50